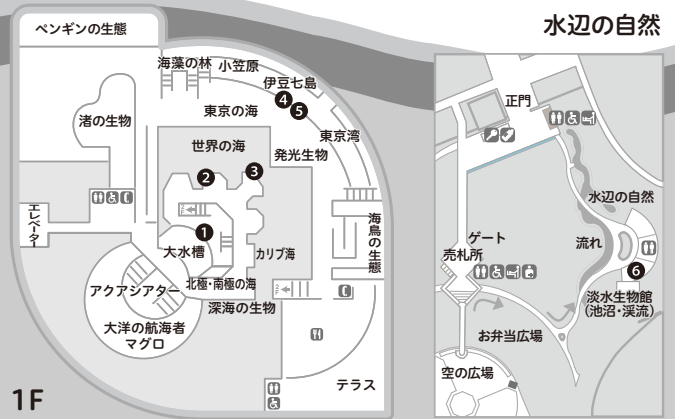


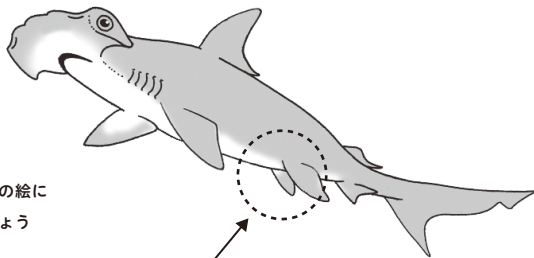
魚オスのメス

魚のほとんどは、マグロのように外見からではオスかメスか、わかりません。ところが、次の魚はオスとメスを見分けることができます。水そうにいる魚をじっくり観察して見つけたら名前を書こう！



1 「1 大洋の航海者 マグロ (大水槽)」

サメのオスの^{なか}お腹にあるものがあります。大きなサメの^{なか}お腹を見ると、分かりやすいです。

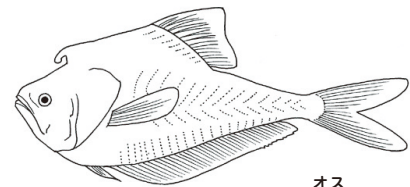


分かったら右の絵にかいてみましょう

このあたりに注目

2 「8 オーストラリア北部」

ナーサリーフィッシュのオスは、メスが産んだ^{たまご}卵を守るために、からだにあるものがあります。頭に注目して見てみましょう。

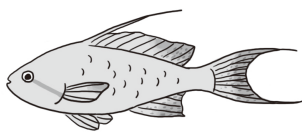


オス

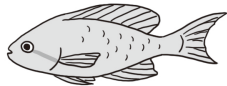
上の絵のその部分に○をつけましょう

3 「13 紅海」

キンギョハナダイは群れでくらしています。しかし、オスとメスの数には、大きく違いがあります。オスとメスどちらが多いか、下の絵を参考に数えてみましょう。



オス

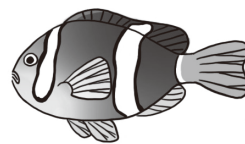


メス

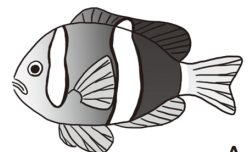
A: _____

4 「37 伊豆七島の海 3」

クマノミのオスとメスは、おビレの色で見分けることができますが、じつは、他にも見分けられる方法があります。水そうにいるクマノミを見て探してみましょう。



オス

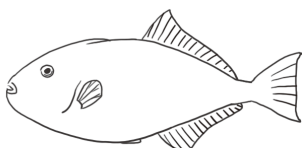


メス

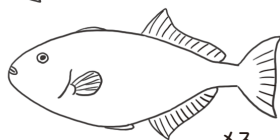
A: _____

5 「38 小笠原の海 4」

ナメモンガラのオスとメスは、どちらかが^は派手なからだの色をしています。ナメモンガラのオスとメスを見比べてみましょう。



オス



メス

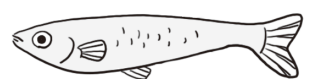
^は派手なからだの色をしているほうに○をつけましょう

6 「52-2 水辺の生き物」

ミナメダカのオスの^せ背ビレとしりビレは、メスと^{くら}比べると^{ちが}うところがあります。ミナメダカのオスとメスを見比べてみましょう。



オス



メス

上の絵にかいてみましょう

魚のオスとメスのメモ

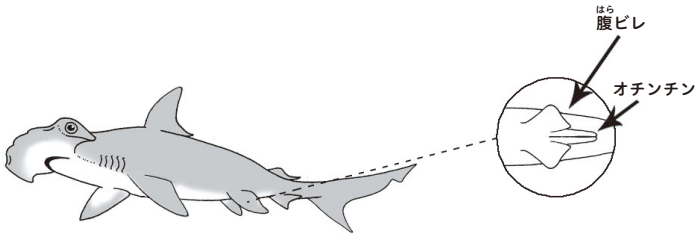
メモ

多くの魚は、外見でオスとメスを見分けられません。
でも、なかにはオスとメスに「違い」がある魚があります。
違いに注目すると、魚のオス・メスの不思議が見えてきます。

葛西臨海水族園

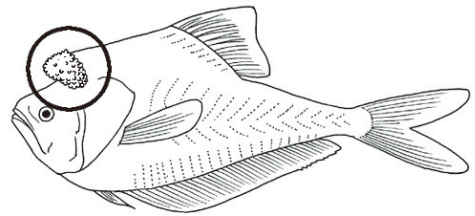
① 答え

答えはオチンチンがあることです。オチンチンは2本あります。子どもをつくる時に、メスがオスのどちら側にも精液をメスのからだの中に届けられるようにするためです。



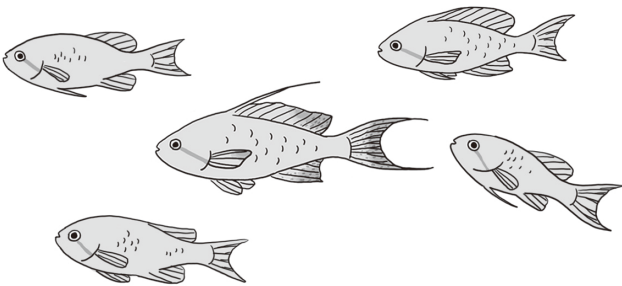
② 答え

答えは額にあるフックです。オスは、このフックにメスが産んだ卵をひっかけて、子どもが産まれるまで守ります。



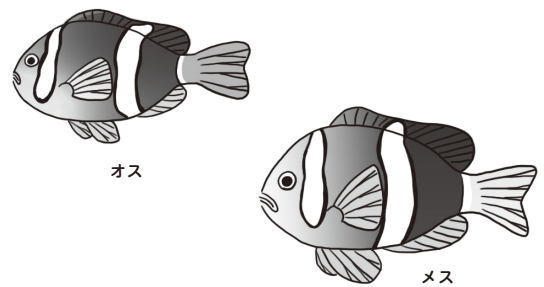
③ 答え

答えはメスです。キングヨハナダイは、オスは1匹または数匹に対して、メスが多数という群れでくらしています。



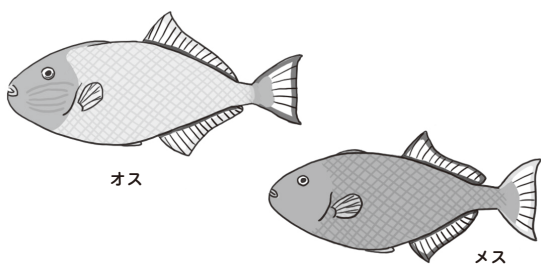
④ 答え

答えはからだの大きさです。オスとメスを比べると、メスのほうが大きいです。メスのからだが大きければ、卵をたくさん産むことができるので子どもを多く残すことができます。



⑤ 答え

答えはオスです。オスはメスと比べると派手なからだの色をしています。派手なからだの色は、メスにパートナーとして選ばれやすいのではないかと考えられています。



⑥ 答え

答えは背ビレとしりビレが長く、切れこみがあることです。卵を産む時に、長い背ビレとしりビレでメスを包みこむことで、子どもが産まれる確率が高くなります。

